

現役ダンサーが答えます!! 指導方法Q&A

Q ダンス初心者の生徒にやる気を持ってもらうには、どのような方法が効果的ですか？

A レッスン中は1人1人に目を向け、指導したり、話しかけたりと、1回は触れ合いが必要です。“先生に見てもらっている”という事実が、生徒達のやる気を引き出します。誉める指導も重要なので、小さい事でも、いい変化があった場合は誉めてあげてください。ただし、誉め過ぎはNG。褒めブライドがつき、反対に向心が無くなります。そして、一番のポイントは、ダンスは辛いものではなく、楽しいものだと思わせる事！ 楽しいと思わせるためには、小さくてもいいので目標を与え、一生懸命練習をした後に味わえる充実感や達成感を持ってもらうことが大事です。

Q 少し踊れるようになった生徒を、さらに上達させるにはどうしたらいいですか？

A ただ振付けを教えるのではなく、こういう練習をしたら(例えば腹筋や腕立て、プリエ、ストレッチ)、もっと上手に踊れるようになる等、しっかりとした体作りが必要な事を話します。そして、コンビネーションは、何回か同じ曲で、同じ振付け(1回ごと振付けを少しずつ増やしていく)で教え、練習出来る機会を与えます。そうすることで、一生懸命練習すれば上手になれると言う気持ちも芽生え、次の目標が出来ると思います。



DANCER
石川浩子さん

◆Profile◆◆◆◆
TV「Dance dance dance」のレギュラーMEGAMIXのメンバーを経て、安室奈美恵・郷ひろみ・MAX等、数々の有名アーティストの振付・バックダンサー等で活躍。現在は舞台プロデュースにも力を注ぐ。日本女子体育大学非常勤講師。



今回お話をうかがったのは・・・
Dancin' Festa舞祭組 代表
杉浦智恵先生

◆Profile◆◆◆◆
ダンスチーム「Dancin' Festa 舞祭組」主宰。08年より「すぎなみ舞祭」企画担当実行委員を務め、杉並区児童青少年課企画「アフタークリスマスライブ」をプロデュース。現在、地元の小中学校にてダンス指導を行っている。

Q 指導する上で注意していることは、どんなことですか？

A 重視しているのは“チーム一丸となる気持ち”。ダンシンフェスタは、年齢や技術が異なる集団のため、一糸乱れぬ統率を目指すというよりも、踊ることの意味を皆で見出し、一人一人が努力の出し惜しみをせず、集団から個のパワーを感じる“ありえない”世界観を出せるよう指導しています。

Q どのような形でサークルを運営していますか？
また、その際重視していることは何ですか？

A ダンシンフェスタでは、高校1年から指導員になることができます。そのため、指導が徹底せず故障をきたすこともあります。“やってみようと思う心”を重視しています。うまくいかない時も、その経験が次の難関に直面した時のヒントとなるため、このような運営形態をとっています。

神奈川県川崎市 H-Kids

Close up! 1

「H-Kidsダンス」は、元気いっぱい幼児から小学6年生までのメンバーで活動しています！年に1度発表会を行い、地域のお祭りやライブのバックダンサーとしても参加させて頂いています。ダンスを通して挨拶やマナー、皆と力を合わせて頑張ろうという協調性も学べるサークルです。



代表
穴吹尚代 先生

2006年「H-Kidsダンス」を川崎にて設立。2010年には横浜吉野町に横浜校を設立。現在90名の子供達の活動を行っています。その他avexの新人アイドルやTV、ライブ等の振付指導も行っています。

★主な活動場所

川崎市麻生区
横浜市吉野町

★連絡先

Hisapie619@yahoo.co.jp
http://www.h-kids.com/



Close up! 2

埼玉県和光市 Y.KIDS'



「Y.KIDS'」は4才～高3の男女を対象に各ジャンル(ジャズ・ヒップホップ・フリースタイル)で個々のレベルアップを目指して毎週のレッスンを進めています。ジャンルを選択し、Y.KIDS'公演、CMやダンスの仕事にもチャレンジしたり、個々のペースでダンスを楽しめるサークルです。

代表
YUKI 先生

基礎重視で様々な作品と音に触れられるように、仲間と踊れる事を大切に出来るスピリットを持てるように、SMAP・BoA・松田聖子・ケツメイシなどのバックダンサーを務める現役ダンサー(谷内雪・MISA・神谷直樹、他6名)が指導！



★主な活動場所
埼玉県和光市、朝霞市

★連絡先

Y.KIDS'代表 谷内雪
090-2492-3967
http://pksp.jp/y-kids/



keep it up! 創刊号

発行日/2011年2月1日 発行人/須田浩史 編集人/青柳有厘
発行/NPO法人ダンスインストラクター協会
お問合せ/support@danceinstructor.jp

DIS DANCE
INSTRUCTOR
SOCIETY

FREE PAPER

創刊号 2011.02.01

Keep it up!

「keep it up!」は、誰もがダンスを楽しく、継続できる環境作りを応援する機関紙です。

代表あいさつ

NPO法人
ダンスインストラクター協会
代表 須田 浩史



NPO法人ダンスインストラクター協会は、「ダンス指導者支援」「地域のダンスサークルの支援」の2つの「支援」を目的として設立し活動しております。

近年ダンスを取り巻く環境は、野球やサッカーのような業界を引っ張る団体が皆無に等しく、多くのインストラクターが、サークルを設立したり、スタジオなどで指導を掛け持ちする等のそれぞれの方法で活動し、その個々の活動が「ダンス業界」を形成しています。

そのため、ダンスインストラクターとしての成立要件が低くなり、個人で参入しやすく、オープンな業界の一方で、他のスポーツ競技のような、他の団体や個人を巻き込んだ、業界として大きな「流れ」を生み出すことができていません。

近年、ヒップホップなどのストリートダンスが、「現代的なリズムのダンス」として中学・高校の指導要領に明記され必須となりました。これは、ダンス業界にとっては、「ヒップホップはどんなものであるのか？」を世の中に提示していく機会をいただいたことであり、また他の学校体育で行われているスポーツと同様に世の中の一つの潮流としての役割を担うよう要請を受けたことでもあると当協会では考えております。

当協会は、その流れの一端でもお役に立てるよう、冒頭の2つの「支援」を中心に今後も活動してまいります。また、この『Keep it up!』が、その1つのツールとして皆さんにダンスに関する様々な情報をお送りいたしますので、ぜひ活用ください。